

アイホン株式会社

証券コード：6718

BUSINESS REPORT 2020

第**62**期 中間報告書

2019.4.1 ▶ 2019.9.30

Communication & Security





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の台風や豪雨により被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。当社グループ役員一同、被災地などで救助や生活再建に尽力されている方々に敬意を表するとともに、皆様の安全と被災地の一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループ第62期の事業における中間決算の概況をとりまとめましたので、ここにご報告申し上げます。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



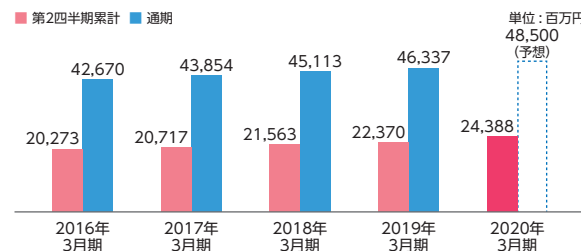
代表取締役社長

加藤 康次

業績ハイライト

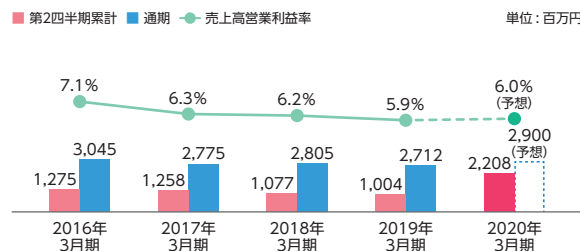
売上高

243億88百万円 ▲ 過去最高
(前年同期比9.0%増)



営業利益・売上高営業利益率

22億8百万円 ▲ 過去最高
(前年同期比119.9%増)



中間決算の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、高水準の企業収益を背景に設備投資については堅調に推移し雇用環境についても改善が続いたものの、世界的な景気の減速懸念により先行きについては不透明な情勢にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高は243億8千8百万円（前年同四半期連結累計期間比9.0%増）、営業利益は22億8百万円（同119.9%増）、経常利益は21億4千9百万円（同106.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億3千9百万円（同69.6%増）となりました。

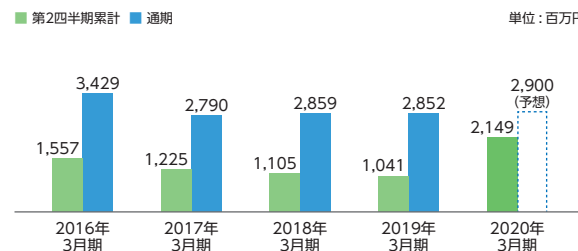
国内市場の状況について

住宅市場 戸建住宅におきまして、リニューアルでワイヤレステレビドアホンの販売が健闘しましたが、競争激化により、戸建住宅市場全体の売上は前年同期から微減いたしました。

集合住宅におきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期からほぼ横ばいとなり、売上におきましてもほぼ前年同期並みとなりました。リニューアルでは、分譲物件におきまして2000年前後に竣工した規模が大きく仕様要求の高い物件群が、消費増税のタイミングを機会に改修需要が例年以上に増加し、納入が集中する結果となりました。またこのような状況の中、受注プロセス管理を強化し、昨年度に市場導入した「使いやすさ」や「施工性」に特化したリニューアル専用商品の営業活動を積極的に行ったことにより、販売の増加につながりました。賃貸物件におきましても、当社が過去に納入した物件においてリニューアル時期を迎える案件が増加いたしました。この結果、リニューアルでは前年同期の売上を大幅に上回り、集合住宅市場全体としても売上は増加いたしました。

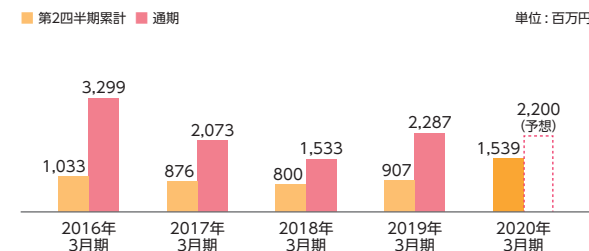
経常利益

21億49百万円 ▲ 過去最高
(前年同期比106.4%増)



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

15億39百万円 ▲ 過去最高
(前年同期比69.6%増)





ケア市場 新築では高齢者施設や高齢者住宅の販売が増加したものの、病院の新設着工件数が減少し、病院への販売が低迷したことにより売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは受注活動のプロセス管理の強化やソリューション営業の推進により病院、高齢者施設、高齢者住宅において販売が増加し、売上は増加いたしました。この結果、ケア市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

海外市場の状況について

北 米 アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、住宅市場において他社との競争が激化し、販売が伸び悩みました。しかしながら、社会的背景からセキュリティニーズがさらに高まる中、学校や公共施設などの大型物件をターゲットに積極的な受注活動を行ったことによりIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

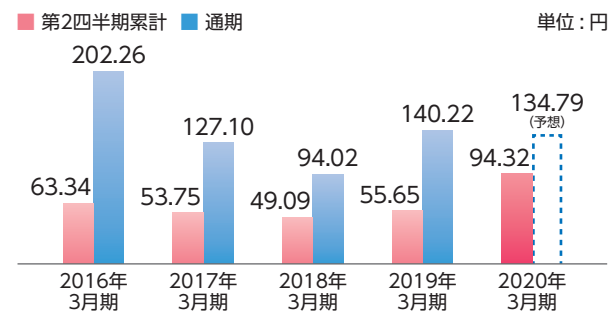
欧 州 フランスの販売子会社であるアイホンS.A.S.につきましては、戸建住宅向けにテレビドアホンの積極的なプロモーション戦略を行ったことにより、販売が好調に推移いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

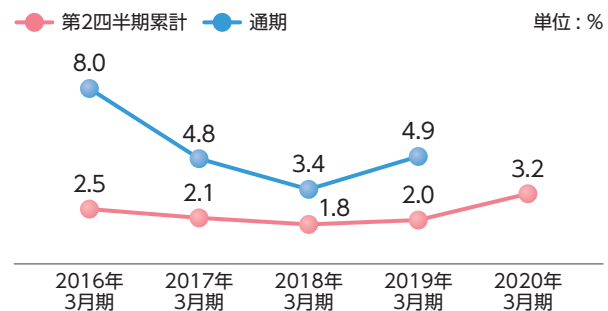
その他 オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、業務市場へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売及び集合住宅のリニューアル物件への販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE.につきましては、大型商業施設などへのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

1株当たり四半期（当期）純利益



ROE



今後の見通しについて

国内市場 住宅市場及びケア市場におきましては、消費増税前の需要増加に対する反動減が懸念されるものの、これまで培ってまいりましたノウハウを蓄積した当社独自の「営業支援システム」を活用し、当社の多岐にわたる市場やお客様への活動情報を一元化することで、受注プロセス管理の強化を図り、受注の拡大につなげてまいります。

海外市場 長期化する米中貿易摩擦等の様々な懸念事項による不透明さにより世界経済全体としては減速傾向の状況にあります。このような中、これまで継続してまいりました地域に密着した営業活動で新商品を中心にさらなる販売促進を図るとともに、受注プロセス管理を強化し受注拡大につなげてまいります。

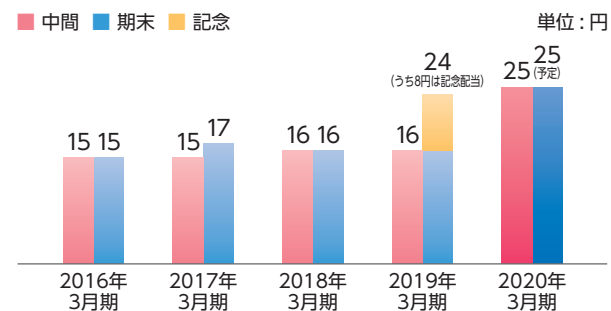
株主様への利益還元について

当社では、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけており、長期的な視点に立った安定的な配当を継続するとともに、原則として1株当たりの年間基本配当金50円を念頭に連結配当性向35%を目途とした配当を行うことを基本方針としております。

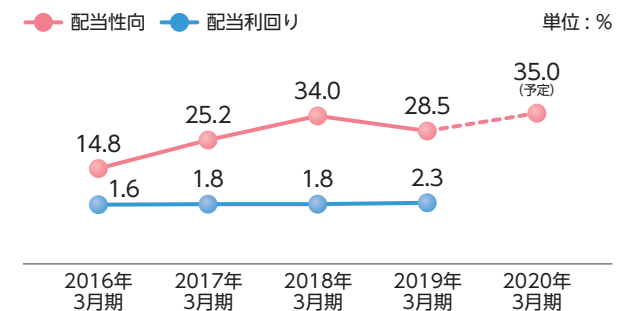
こうした考えの下、中間配当金につきましては1株当たり25円とさせていただきます。

なお、2020年3月期の期末配当につきましては、業績予想をふまえ1株当たり25円を予定し、年間では1株当たり50円の配当を念頭においております。

配当金

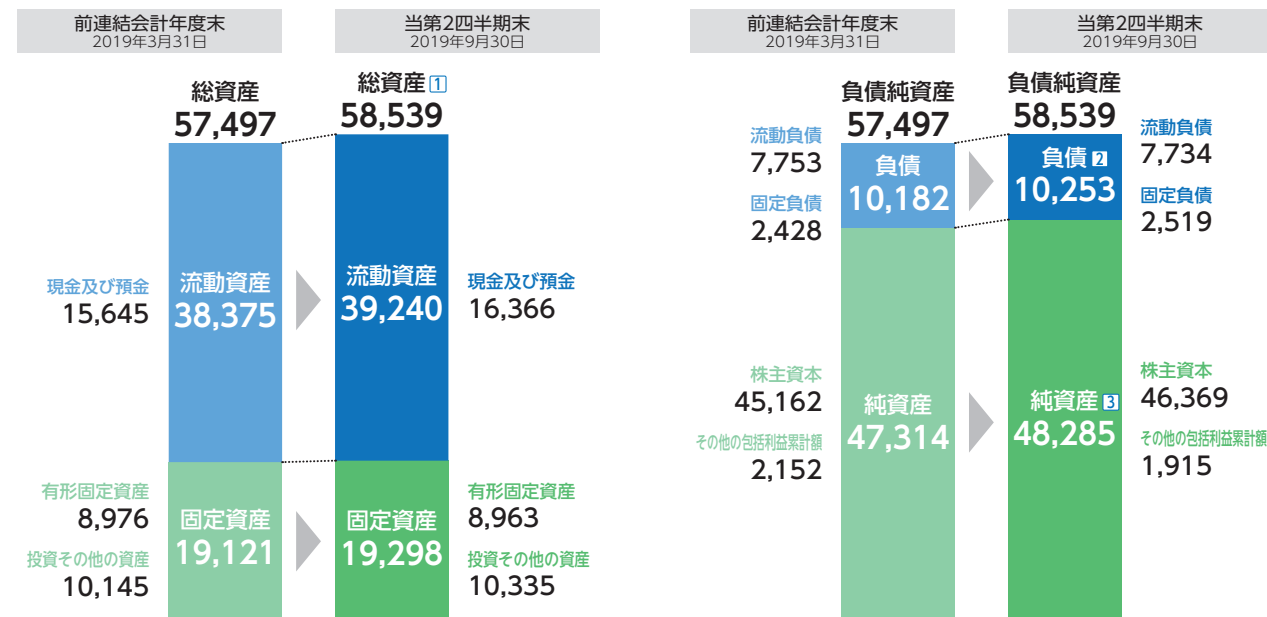


配当性向・配当利回り

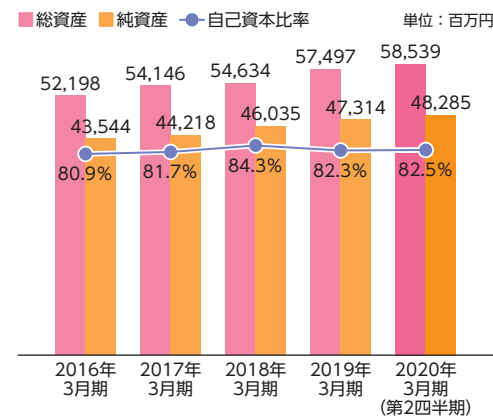




■ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

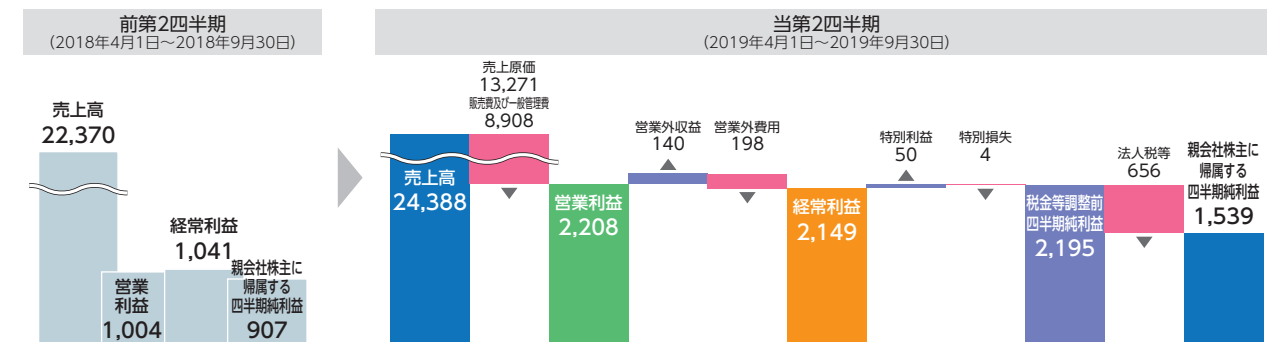


解説

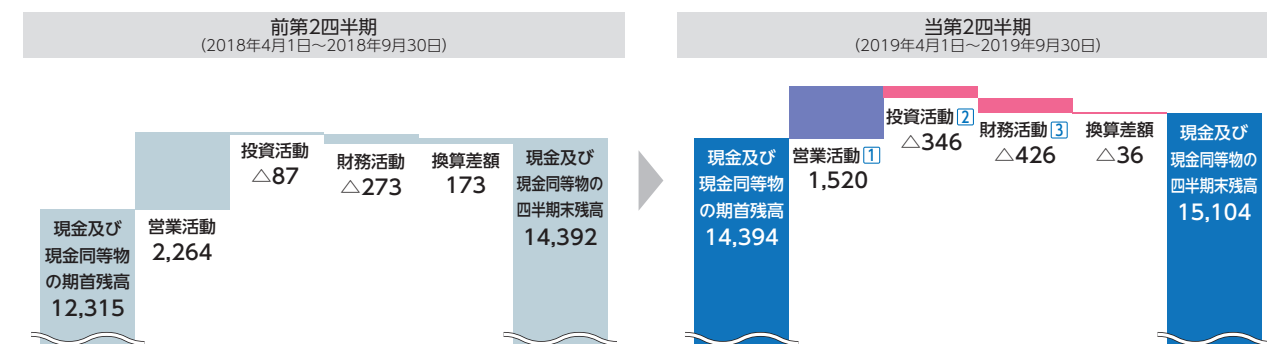
- ① 主に、現金及び預金が7億2千1百万円増加、たな卸資産が2億1千6百万円増加したことなどにより、前期末に比べ10億4千1百万円増加いたしました。
- ② 主に、リース債務が5千8百万円増加したことなどにより、前期末に比べ7千1百万円増加いたしました。
- ③ 主に、利益剰余金が11億4千7百万円増加、為替換算調整勘定が1億7千8百万円減少したことなどにより、前期末に比べ9億7千万円増加いたしました。



■ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



解説

- ① 主に、税金等調整前四半期純利益21億9千5百万円の計上があったものの、法人税等の支払額6億7千3百万円などがあったことにより、営業活動の結果、最終的に得られた資金は15億2千万円となりました。
- ② 主に、投資有価証券の取得による支出5億4百万円があったものの、投資有価証券の売却による収入1億6千9百万円などがあったことにより、投資活動の結果、最終的に使用した資金は3億4千6百万円となりました。
- ③ 主に、配当金の支払額3億9千1百万円などがあったことにより、財務活動の結果、最終的に使用した資金が4億2千6百万円となりました。



NEW 新商品 展示会 営業活動 IR IR活動 OTHER その他活動

4月 ● 展示会 17～19日 「第4回 駅と空港の設備機器展」に出展

5月 ● 展示会 22～24日 「JECA FAIR 2019」に出展

6月 ● NEW 10日 戸建用テレビドアホン「JS-12」「JS-12E」発売

● IR 27日 第61回定時株主総会開催

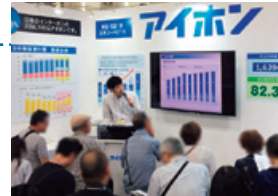
7月 ● 展示会 3～4日 「Care TEX福岡2019」に出展

● OTHER 8・9日～ 「日本縦断Clean upキャンペーン」スタート！
CSRの取り組みの一つとして、“Let's pickup! ×2 (ぴかぴか)”を合言葉に当社の国内全拠点を北と南を基点とした2グループに分けて、たすきリレー方式で清掃活動を実施しています。2019年9月末時点で延べ68名動員、約50kgのゴミを清掃しました。



● 展示会 17～19日 「国際モダンホスピタルショウ2019」に出展

● IR 19～20日 「名証IR EXPO2019」に出展
当社の現状とこれからについて説明させていただくとともに、多くの個人投資家の皆様との意見交換をさせていただきました。(主催：株式会社名古屋証券取引所)



● NEW 22日 スマートフォン用アプリケーション「CareRings Contact」を発売

出勤している医療・介護従事者の情報をスマートフォンの画面上においてリアルタイムに確認・連絡が可能のため、円滑なコミュニケーションと業務の効率化や省力化に寄与します。



● 展示会 30～31日 「賃貸住宅フェア2019 in 東京」に出展



8月 ● 展示会 6～7日 「Care TEX名古屋2019」に出展

● IR 23～24日 「日経IR・個人投資家フェア2019」に出展

9月 ● 展示会 5～6日 「賃貸住宅フェア2019 in 大阪」に出展

● IR 26日 「株式投資サマーセミナー2019」に登壇
会場にお越しいただいた多くの個人投資家の皆様に対し、当社の現状とこれからについて和田取締役経営企画室長より説明させていただきました。(主催：株式会社名古屋証券取引所)



10月 ● 展示会 9～11日 「Care TEX関西2019」に出展

● OTHER 台風19号により被災された皆様への救援および被災地復興のため「中日新聞社会事業団」を通じて義援金100万円を贈りました。



11月 ● 展示会 20～22日 「HOSPEX Japan 2019」に出展

12月 ● IR 20～21日 「野村IR資産運用フェア2019」に出展予定



(前回出展時の様子)

前回に引き続き出展を予定しております。
当社のことをもっと知っていただくためにも皆様お誘いあわせの上、是非ブースへお越しください。
会場にてご来場をお待ち申し上げております。

詳細につきましては下記をご確認ください。

<https://fair.nomura-ir.co.jp/ja/index.html>

(主催：野村インベスター・リレーションズ株式会社)



概要

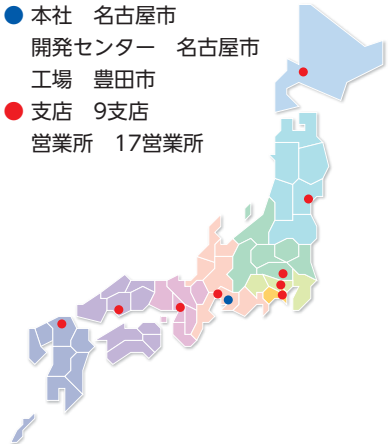
社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
創立	1948年6月1日
本社所在地	名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル
資本金	5,388,844,000円
従業員数	2,001人（連結） 1,104人（個別）

事業の内容

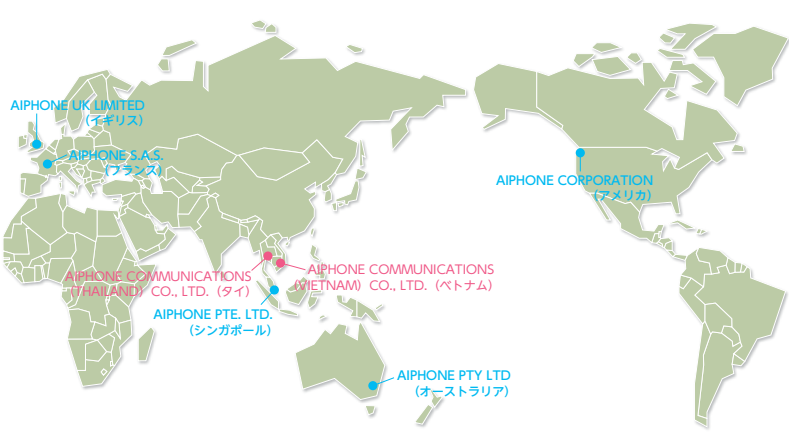
1	通信機器、音響機器、電子応用機器並びに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2	情報通信、情報処理及び情報提供のサービス並びにインターネットの接続仲介業。
3	コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発並びに販売。
4	前各号に附帯する一切の業務。

国内ネットワーク

- 本社 名古屋市
開発センター 名古屋市
工場 豊田市
- 支店 9支店
営業所 17営業所



海外ネットワーク（連結子会社） ● 販売子会社 5社 ● 生産子会社 2社



役員

代表取締役会長	市川周作
代表取締役社長執行役員	加藤康次
取締役執行役員	和田健
取締役	入谷正章
取締役	山田潤二
常勤監査役	小島明宏
監査役	立岡亘
監査役	石田喜樹
監査役	松井夏樹
執行役員	吉澤誠
執行役員	加藤淳夫
執行役員	谷口尚弘
執行役員	井戸田健一
執行役員	荒尾和幸

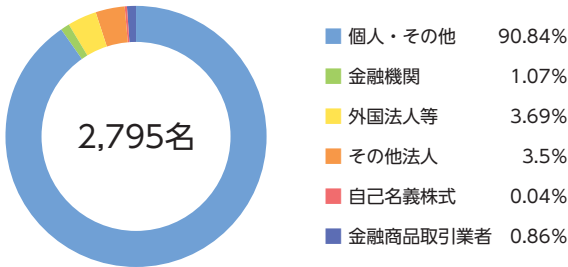
※1. 入谷正章氏、山田潤二氏は、社外取締役であります。
2. 立岡 亘氏、石田喜樹氏及び松井夏樹氏の3名は、社外監査役であります。



株式及び株主

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	18,220,000株
株主数	2,795名

所有者別分布状況



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6718

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます

大株主

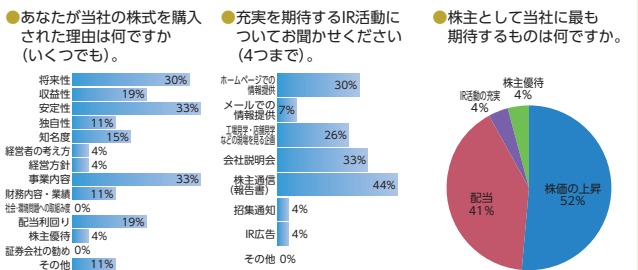
株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
市川周作	2,703	16.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,258	7.69
アイホン従業員持株会	733	4.48
株式会社みずほ銀行	526	3.21
三菱UFJ信託銀行株式会社	507	3.10
日本生命保険相互会社	490	3.00
第一生命保険株式会社	430	2.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	399	2.44
住友生命保険相互会社	364	2.23
株式会社三菱UFJ銀行	354	2.17

注1:当社は自己株式1,875,637株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
注2:上記大株主の状況に記載の市川周作氏の所有株式数は、本人及び親族が株式を保有する資産管理会社のイチカワ株式会社が保有する株式数2,250,000株を含めた実質所有株式数を記載しております。

アンケート結果のご報告

第61期決算報告書の発行後、「いいかぶ」アンケートを通じて株主の皆様よりさまざまなお声を頂戴いたしました。あらためてお礼を申し上げますとともに、アンケート結果のご報告を申し上げます。また、今後とも株主の皆様のお声を反映した企業活動並びにIR活動に努めてまいります。

アンケートの集計結果



当社に寄せられたご意見

- 増配をうれしく思います。今後も更なる増配をお願いします。
- セキュリティの技術を生かした製品の開発を期待しています。
- セキュリティは今後も成長の余地が十分にあると思うので、商品開発を進め業績を向上していただきたい。

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部

電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.aiphone.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ウェブサイトのご案内

ウェブサイトにて当社の企業情報を随時開示しています。商品紹介や展示会情報等を掲載しているほか、株主・投資家情報のページでは決算短信等がご覧いただけます。

<https://www.aiphone.co.jp/>



〈トップページ〉



〈株主・投資家情報〉



〈個人投資家の皆様へ〉

■ 受賞・認証



■ 商品の修理受付・ご相談

修理受付センター

☎ 0120-037-704
FAX 0120-098-990

- 受付時間 午前9:00～午後5:30
- 年中無休(365日)受付

土曜、日曜も受け付けております。

お取り扱いなどのご相談は お客様相談センター

☎ 0120-141-092

(携帯電話からは0565-43-1390へおかけください)

- 受付時間 午前9:00～午後5:30
- 土・日、祝日、及びお盆、年末・年始、ゴールデンウィークを除く。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080